

北海道大学での GTR 融合研究

所属: 工学研究科

学年: 博士後期課程 1 年

氏名: 加藤 丈裕

<出張先>

北海道大学触媒科学研究所触媒理論研究部門

<期間>

2020/10/19~10/23

<概要>

ダブルメンターである北海道大学の長谷川先生の下で融合研究を行うために留学した。研究打ち合わせをした後、研究手法を学び、実践した。最終日には小規模な研究報告を行った。

<所感>

北海道は既に紅葉の季節であり、昼夜での気温差が激しく厚手の上着が必要な日もあった。長谷川研究室がある触媒科学研究所は正門から一番遠い位置にあり、学内バスで片道 8 分かけて通った。北海道大学でも ICREDD と呼ばれる計算科学、情報科学、実験科学の 3 分野を融合した研究拠点があり、ITbM と似た mix ラボの概念が取り入れられており、融合研究の概念が各地で浸透していることを感じた。

初日は長谷川先生に自身の研究をプレゼンをした後、1 週間の研究方針を長谷川先生に加え、博士研究員の宮崎さんと 3 人で計画した。異分野の研究者に自分の研究を伝える難しさはこれまでの GTR のイベントで痛感していたため、その経験を活かしてうまく説明できたと思った。環境の変化に不安も多かったが、研究室のメンバーが温かく迎えてくれ、毎日食事を誘ってくださり、親睦を深めることができた。1 週間という短い間だったが、現地へ訪問しなければわからないことが多いことを実感し、知識を深められた濃密な 1 週間となった。一方で研究の難しさも感じ、今後改めて留学する必要性も感じた。



長谷川先生(左)と宮崎さん(右)と私(中央)